

実施校を募集

神奈川県内の高校等へ 国際教育の講師を派遣します！

「国際教育とは？」

国際社会において、地球的視野に立つて行動するための考え方や能力を育むための教育活動全般を想定しています。（関連する分野：国際理解教育、人権教育、開発教育など）



地球規模の
課題を考える



グローバルな
視野で活躍する
先輩と出会う

多文化社会を
生きる

留学生との交流



教員研修



☑ グローバルな視野で活躍する人と出会う・進路を考えるきっかけをつくる

国外・国内を問わずグローバルな視野を持ち活躍する社会人から、高校時代から現在に至るまでの経験を語っていただき、将来や進路について考えるきっかけをつくります。

実施例

国際協力NGOの講師による講演

実施例

ものごとを深く語り合う「哲学対話」のワークショップ

な進路を考えたい。



☑ 留学生との交流・グループワーク

県内の大学や専門学校にご協力いただき、複数名の留学生を派遣します。

出身国や地域の文化や習慣についての紹介、来日目的や将来の夢についてのディスカッション等、少人数でのコミュニケーションを重視し他プログラムにより相互理解のためのヒントを学びます。

また、留学生との交流にあたり事前に「やさしい日本語」のワークショップなども可能です。

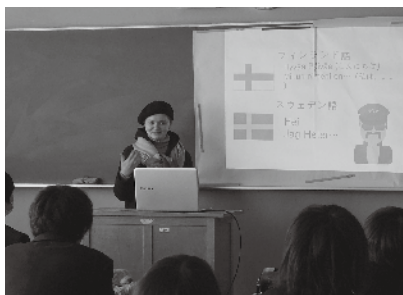
- ・ 留学生の出身国・地域の指定はできません。
- ・ 使用言語は相談に応じます。（日本語または英語）
- ・ 派遣可能時期は留学生の来日時期により異なります。ご相談ください。
（目安：5月中旬～7月上旬、10月上旬～1月上旬）
- ・ 同一時間帯に1クラスに対し、2～3名を目安に留学生を派遣します。複数クラスで同時に交流活動ができます。

実施例

各クラスで留学生による自国の文化などを紹介

実施例

来日目的、夢について小グループで意見交換



☑ 教員研修（講演、ワークショップ、フィールドワーク等）

これからのグローバル社会を生きるために必要な力として、語学力に留まらないコミュニケーション能力、主体性・積極性、協調性・柔軟性、異文化に対する理解や次世代まで視野に入れた社会貢献の意識などが挙げられています。生徒の主体的な参加やコミュニケーションを促すワークショップの体験、フィールドワーク実施のための教員向け研修も可能です。

外国人コミュニティの
フィールドワーク等



2020 年度「高校国際教育支援事業」企画書

学 校 名	
学 校 長	
担 当 教 員	
住 所	〒 -
電話 / FAX 番号	電話 : FAX : 連絡のつきやすい時間帯 ()
E-mail	@
実施希望日時	第一希望 : 年 月 日 () 第二希望 : 年 月 日 () 時間 : ~
実施会場	
最寄り駅・バス	電車 : 線 駅 / バス : 最寄りの駅・バス停からの徒歩 分
対 象	学年等 : 人数 : 名 (クラス) 部活・委員会名等 :
テ ー マ ※実施テーマから お選び下さい	<input type="checkbox"/> A …… 貧困、平和、人権問題など、地球規模の課題を考える <input type="checkbox"/> B …… 多文化社会を生きる <input type="checkbox"/> C …… グローバルな視野で活躍する人と出会う・ 進路を考えきっかけつくる <input type="checkbox"/> D …… 留学生との交流・グループワーク <input type="checkbox"/> E …… 教員研修
希望する プログラム及び 講師	※プログラム内容のイメージや期待する効果等を具体的にご記入ください。
年間計画等 における 本プログラムの 位置づけ	

プログラム実施までの流れ

1

企画書のご送付

- ・所定の企画書（P5）に、必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお送りください。
- ・企画書提出からプログラム実施の可否のご連絡まで最低2か月程度のお時間をいただいております。企画書は余裕をもってご提出ください。一部、企画書の提出から1か月半程度で実施可能なプログラムもございます。
- ・企画段階でのご相談もお受けしております。お気軽にご連絡ください。

2

実施の可否のご連絡

- ・企画書の内容について確認し、企画書提出後2か月をめどに実施の可否をご連絡します。
- ・企画内容、時期などにより、ご希望に応じられない場合はお断りすることがあります。
- ・応募多数の場合は、本事業により過去に支援を受けた回数の少ない学校を優先します。

3

確認書のご提出

- ・日程、講師等の確定後、確認書をお送りします。必要事項をご記入いただき、公印押印の上、ご提出ください。

4

事前打ち合わせの実施

- ・プログラム内容、当日の進行、機材などについて事前打ち合わせを行います。プログラム実施の1か月から2週間前までに、実施校のご担当の先生、講師と当財団担当者の三者で、かながわ国際交流財団の事務所（横浜駅から徒歩5分）、または講師が指定する場所までお越しいただくようお願いいたします。

5

プログラムの実施

- ・実施校による司会進行のもと、プログラムを実施します。当日は当財団担当者も同行し、講師のフォローを行います。
- ・パソコン、プロジェクター、音声機材等の準備、設置、設定は実施校をお願いいたします。
- ・当財団の協力による実施である旨、受講者に明示をお願いいたします。また、当財団が実施する高校生向けのプログラムを受講者にご紹介することがあります。
- ・プログラムの様子を撮影し、広報等に活用する場合があります。
- ・プログラムの実施について学校ホームページ、広報誌などに掲載する場合にも、当財団の協力による実施である旨、明記をお願いいたします。

6

アンケートのご協力

- ・ご担当の先生とプログラムの受講者には、プログラム終了後にアンケートの実施、回収及び集計のご協力をお願いいたします。アンケートは当事業の改善及び広報等に活用する場合があります。